

水道事業会計当初予算

問 耐用年数を過ぎていたため3項目の減価償却累計額が変わっていない。新しい施設が完成するまで、機械及び装置において、大規模修繕が発生する懸念はないのか。

答 現在、町の水道施設は、水源地在り8か所、浄水場が2か所ある。既存の西古泉水源地は建設から50年以上経過しており、建物、機械、ポンプなどは耐用年数を過ぎていたが、その都度交換し、安定供給に努めている。最も重要なポンプは、3年程度は持ちこたえられる。

問 今後、施設整備のための大きな借金をすることになるが、返済計画は策定しているのか。

答 浄水場施設に39億3000万円、その他、西古泉水源地の改修費などに多額の費用が掛かる。水道の料金体系や経営の見通しの調査業務を委託する中で、返済計画をしっかりと立てていく。

令和3年度 補正予算

◎総務部所管

問 財政調整基金の積立は。

答 地方財政法の規定に基づき、令和2年度から3年度に繰り越しとなった実質収支額4億799万円の2分の1を積み立てる。

問 財政調整基金は3月末で7億2千万円余りとなっているが、実際にこれだけの積立ができるのか。

答 予算が議決されれば、予算額を積み立て、7億2187万円になる見込みである。

◎産業建設部所管

問 町道西75号線ほか路線道路予備設計業務の概要は。

答 宗意原交差点から宗意箱住宅を越え、北黒田の「なかむら歯科」へ通じる道路の予備設計を行っている。現在、予備設計の段階であり、着工時期等は決まっていない。

問 町営住宅の建替えを目的に予備設計を行っているのか。踏切等もあり、工事は難航するのではないのか。

答 宗意箱住宅の建替えも含め、地域の道路環境を改善し、住民の利便性の向上を図るため計画をしている。概要が決まれば議会にも報告したい

と考えている。

問 水路を暗渠にした場合の維持管理は。

答 道路区域として水路部分を利用し、道路管理者が管理をする。

◎教育委員会所管

問 北伊予小学校屋外トイレ改修工事で、補助金が出ないため工事を延期にしたことだが、予定していた補助金が出なければ改修工事は実施しないのか。

答 補助金の額が大幅に下がったため、今後どのような補助金を受けられるか、工事内容を含め改めて検討したい。

意見

繰越明許費として計上されており、減額補正をしていない以上、事業をすることは決定している。予算や補助金については内部のことであり、担当課で調整すべきである。

問 補助金が予定より約550万円減ると説明があったが、他の補助金申請をするのか、それとも自主財源で工事をするのか。

答 詳細について、国や県から回答が来いていないため内部での協議ができている。

国、県の回答を踏まえ方向性を考えたい。不足部分を自主財源でするかどうかも含め検討する時間をいただきたい。

意見 補助金が減額したから中止となると設計費用が無駄になる。しっかりと設計を立ててから設計をするべきである。



早期改修が望まれる北伊予小学校屋外トイレ

◎保健福祉部所管

問 非課税世帯に係る臨時特別給付金の進捗状況は。

答 住民税非課税世帯約3400世帯の83%の給付手続きが完了した。確認書提出期限は5月2日であり、それまでに手続きが完了するよう、周知徹底を図りたい。